信川小学・麻酔小學三枝に對す

「東京は語」今回の總選舉取締に

及果二般事績長の訓示した通り | 壁む司法省五局の方針は四野法相

方機引局からの報告によると演説建反事性が整想外に少く、財各地

れも奇異の感にらたれむしろ一

| 程 において萬が一にも人徹従贈問題| は しょして居る、 然し斯の如き情勢下

総計伝統、遷縣用頭係の三項目で一緒に封ずる聯心は陥る低潮な機器。實真遠反の檢驗號行、人觀點的の。館の入りなども少く一方國民の選

できる。 関を違反率 を設起し、これを非難されるが如の憂さへ抱いてある、即を違反率 を設起し、これを非難されるが如の憂さへ抱いてある、即を違反率 を認起し、これを非難されるが如の憂さへ抱いてある。即を違反率

連動資金が調響でないこと、前回 | 盆局としてはこの際機器に當りて

近し言論戦の白熊化するに伴れ

既職の情勢を見るに選撃期日小常派駆撃を期してゐる、耐

協調を保つて販内服の走鉤た

無法非立域の解散の虞相と、

岐路に立つものなりとして全力を

始ると共に、同一

國民の選擧に對する

は頗る低調

政府の態度を注視

政友會は民政と協調

たが、去る十六日日代各人院派に関かれた同家の政権門出の第一際、「院院獨等政治の挑戯と政党政治の能立のため熊職して運動原に赴いから解散は登く政策が改勝に許事の憲正をの所能が影解就に遵守なことが照明するに独つて、教政は何れもとの所能が影解就に遵守なことが照明するに独つて、教政は何れもとの所能が影響が改善と思れるは怪しからぬ野塾に数て職たる記述してかず義道殿館に盛んだが、その後の懐勢に数で職を記述さればいる。

らうと見られ、新る態度に出てず或は頻敏りを以て特別報音

る所であるから、特別議館を待たずして自己演算の態度に出るで 類りに強がりは云ふものの形勢が至く自己に不利なるは意識してを

んとするならば開煙野頭太平不信田敷を提出し、

るが、民衆の既倒的支持の下に終了した問題態後において政府がか

策を弄するやも知れずとしてこの點を整戒してる

の前子を以て職業を誘惑し、既は政民開放の別きが少し開館に察じあくまで政府が退陣を欲せぬ場合、既は且下棄職となつてゐる問題

戦は目下飛機となつである間飲

てるも最早政府は手の下しやうなき窮地に陷るは必然である、 せんか制選舉の結果は政民兩話が絕對多数となり、如何なる點より 府支援を整備する中立候補の立候補取消等の現象が現れるに至っててこの傾向は猛々駆著となり、政府支持の昭和曾を聴するもの、政

にして選撃戦を眺び扱くことになった、その後感戦の耐なるにつ

られないので、筑斉鵬部はあくま

こととなったが、ヒトラー 総献 人の課題報行使の指針、「國防と既認に佐つて保身の方途を勝する」即の職工選問を標析して「在郷軍 ないため、ベルギー政府は中立化 | 今次濃湿器に際し金融三百萬の億

政府も断く自己の不利を認識し、且つ新版版立運動も立消えとなっ

任舞つたので今は至く孤立無援の狀態に陷つた形で、この虚態を

総款を支持するものの増設な支援とたし、戦争反政権の立場を明日 開発な策を調ぜんとするからはかが前に封する民衆の限制的支持は明白に政府の解散を罪なりとして「管院獨議主義に届られて知问なる

こおける民衆の配制的支持と、各地における同衆を初めとする反政 | 知らぬ林内樹としては遊た庭間で | に働する交渉は速々として進歩し

に、既成成立一般の深刻を織するか既は交近に構立の目界か成府の「東京地道」民政治は議論部散名初は能り急級な解散であつただけ

M

田

總

斷乎不信任案を提出

民政が倒閣の氣構

ルギー政府首殿の外ルクセンブル

公園背相ベツシュ大佐とも懇談 ッ外相主催の晩餐館に出席して

| 繁定である、新ロカルノ機動

【東京電話】在郷軍人館本部では

別議會の開會劈頭

英外相夫妻ら フラツセル 到着 日國首腦らと懇談

旦ちに宿舍イギリス大使館に入つ 後六時十分至路ブデアセルに到。同哉音を以て類く測定するととし イーデン外相は二十六日午前 (商ぼ歌名を同伴して二十五日 イギリス外相は天人の外イギ 蕭選を標榜し

ラツセル二十五日同盟 イー | でゐるため、イーデンイギリス外 飛行協ではスパーク外相 ドイツ 政府と 直接交渉する やら し、中立仏に馳する英熊南図の织相はあくまでベルギー跛府を設能 ロカルノ機制問題の行協みに封建しる推定である 一柄力動説するものと見られる、新

の打心工作につき結果を聴取、ず

間についても豊庸砥打合せを遠げアンギーランド首相のアメリカ店 |廿七の南日に重り交渉を重ねた後 るものと見られる、外相は廿六、

張總理ける

の見品蔵北知事の東道で二十六日殿南洲国々傍勘埋は、折極上城中 と難雨一如の形き撮子を交はした【朱乙電話】京城において南郎哲

親心之を判削する激彰ある人をの見品成化知事の無道で二十六日 かが入つて来たやく 現代 神神を破神し、従来の所 早朝鮮に謝州との連難はい北郎に た。 飢餓は吃強して、 軍人 神神を破神し、 従来の所 早朝鮮に謝州との連難はい北郎に た。 飢餓は吃強して、 軍人 神神を破神し、 従来の所 早朝鮮に謝州との連難はい北郎に た。 飢餓は吃強して、 軍人 神神を破神し、 従来の所 早朝鮮に謝州との連難はい北郎に た。 飢餓は吃強して、 健康には、 ののののでは、 のののでは、 ののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 ののでは、 のので 自己の利害得失のみを考へ國 日先 | 芽吹く朱乙沙町に沿ふて遡り 時朱乙溫泉鮮仙器に入り、河畔の 多数の出迎へ裡に朱乙縣着、縣面 の撤退に答へつつ成北追総記題し

(構を利用し転が低地用の底感を包)境に歳の襲れを飛び、夜は同所に誤解され何か低類単人館はその體 とつた、賑酷埋は今日一日この(妣)を開いていた。 新館でせせらぎを聴きつつ朝廷をと帰嗣したが、之等文書の 聴言が | 新館でせせらぎを聴きつつ朝廷を 領導部長安藤中將は国人資本部は れてゐるにつき、在郷軍人質本部

で本部の指揮物神を宜明した。 難に全回の選擇に離正選舉を情情 するのみで、この塚外に蹴じて出

進する異かある、荷貴國の御指深くし日支賴語、東亞利平を地

て「に歌越の参麗を掘つてゐる」「「「重視がしてベルギー政府を譲つ」」と前位し、正しき還原能行便に、近で全後の政局の推修と政府の應度」が安全保障能に不可疑維約総の好「静道第一等の小胆子及リーフレッ 日支親善東亞和平を 進い要あり

翼察訪日視察風けふ門司入港 張團長 が聲明發表

者數長天建市長張自忠氏、副顏長 れてゐる第二十九軍將校中の有力 切つて渡日を取行し動向を注目さ を網確せる異態訪日視察師一行十

けふ本府で開催さる

建設計造その他に疑いて協議した 支那紙新聞報主筆

放るに憤慨してこの犯行に及んだ問題に続する新聞報の礼説が軟弱 【上海廿六日同盟】常地支那新阳 暴漢に襲はれ負傷 話嗣資資等の職員派置支給規

先日應援のため背相の生國石川 際に乗り込み『一國の案相の郷 思つたが褒めることは自分

疑も得望されついあるも、文化 施國日本は同時に航空日本の 國防上航空事業の撤進向上は

の航空網もつとくく辞述の急折

朝鮮の大なることを一般に知

月下來朝中のロベルド氏は、廿六 鰹の外國傳道局長として知られた ロベルド氏 ローマ法王

以びこれが連路開連な伊ふ谷吐出

(浸質量質鑑賞と面面級との連絡|

定例

商次添成したのと候補者及び連 胃前ののと候補者及び連 胃的四の多端葉に比し遠反、人員において生意が、石は選恭離正連動が において半数以下に渡少し

底に大かどり吹が赤々とたかれ、 「質く新祭禮一干百四十八柱の指導祭が碑々をに大かとり火が赤々とたかれ、要國の歌脈がに開始された、この夜七時からは内苑、新がに開始された。この夜七時からは内苑、新がらの前政職に本ぬ祭の底にとつて、愈上版がらの前政職に本る。

重を部々と本殿に希臘、歴火は點ぜられて茲 午後十時前死内の燈火一層に消ゆるうちを感 祭主となり十餘名の海駿奉仕して式は行はれ 衛助期间村留守隊の趙代響が奏者、

もあらうが、政府の解散理由が旅 は農業期に入つて昭のない開始 選単に到する懇談を持たない原因

山に向ひ、五月三日『あかつき』で登山に向ひ、五月三日『あかつき』で登小成軍司令官は卅日のかっき』で登

げることが出来るが、一般国民の歴に繁潔を掘つてゐること等をあ

職せしめる方針で強んて居る も人機候職に亘る既なき様各地方

の能成性機能に表み各族権者も極

に新たなる英語は永遠に神錻った、この日産

名號の思能戦災行などが服かに、理者は雨を買してひきもぎらず、

荷國神化既時大祭は廿五月午後

社

臨

時大祭

開報配前の消路で一支那人の警波 犯人はその場で逃捕された、日支により突然傾付けられて貢催した 十五日午後一時租界内漢口路の新

東部が所長、脳東軍から佐藤中佐東部、西畑同武造南郷長、森同安東市、西畑同武造南郷長、森同安 など勝僚者塞集、戦闘一如による

孫少佐、南州側から佐藤路道總局

り 療薬士木、及び朝鮮軍から伊

美味来選で有名な木下藤次郎老

は大筋疑ひなし」と大演性 却つて受けたよ、國民は正直で

方へ作らうとした。上手にも描字 かつた。離職は打震のに上手の んで、他へほはりつく衣服を切と 「小路つ子、何思へ往く、」

本日夕刊

一級へ出てるた。 河線には運が送つ て鉛色に流れてゐた。歌も二つ三 即には大利視の流れが配を得め | 火の光が、一つぼつかり見えて

の上にやるなりぐいぐいと水を吹ろとおりて往つて、躁んで眺を水

むた。

た症域の代は、四人の脳を観に

跳で、脳の切であつた。色

脱郷の強さら

一行は西を飲んであたの例に

れには背木瀬太郎の たっそれは小舟の水

行が深つて

であつた。

際人のやら

た。 龍騰は吃班して後を見た。 其 | 背にして触の方へ和つてゐた。 れあがつたその眼に

発向つて戦つ

の石板似語が酌

◇澤田廉三氏(駐海大使前参事官) 「あかつき」で入京朝館ホテ 郷池一街氏(殊銀型事)同上野のところ廿五日午後路城市のところ廿五日午後路城市のところ廿五日午後路城市の大田の東上 野平北知事 入城中廿六日 天地玄黄 ーデン公便 同上

A今後の降盛を捌待して止まず「が飲ぎあたから、pg伽をしないに」 環太郎の左前に航空網の位置を改る総好の戦 の前で、其度には捕萃や献人など たご 瀬太郎に辺し

阿哉の安否を探らなければなられ一た。長次郎は笑つ と思った。その時頃の際に二三人 『男さんは痴に感 小伽の小低配 がい」なやあ 衛歩であつ

覘つてゐた。それを見て指率は跳 てゐた。 返した盃を数

『それらや阪沼閣語の別利益かり

『仮孔脚者よりも 、川口剛戦の御 にあであつた。 ころであつた。

中貢太

(39)

河野 勢郎

| | 東なかつた。 組織は一生動脈にな | 東なかつた。 組織は一生動脈にな

らくいてない場の名 新流行染物一 美人を作る最新手術 儲かる婦人向新副業 一切疑表

スコテイツシュ・チーム、オチナムに向はせられロンドン がはされた、 試合はロンド -ルトマーチヤンテイタース 東される同のアナウンスありは疾父母世界の御手により接ば疾父母世界の御手により接続 限下には何自ら優勝株をロン ドン・スコナイツシュ・チー て大防した、駄台紙るやコン

ンスコティッシュ・チームが、くもは守一同に様子を騙はつ 脳前に選手の観察が駆まり何たがスタンド中央殴手の御座 見手つた この時コンノート れも歌曲の山村でこの光気を チーム団」にも取する際はつ

ラクピーなの近視感を御典深 長ダージル限士からイギリス 試合中…ドルセフタス・カン のため場、一旦にされた、世 を然つてはとうか」とも仰せ トリー・ラクビー・ユニオン会

優勝杯を御授與遊ばさる

風の兩鳥

動で観問、慶校や仮教行列、相撲「湖暦を行つた動に公開したが兵隊さん総出」がらの戦争を避らし肚綿にる爆破

「世紀市と佐々木変段長八下別市時、武成が成っこに守む時後と後下自の総盤地で開発した市保里常市的」の一三本町二朝郎土産地市商店への総盤地で開発した市保里常市的「中学教授機・十五十十前三時ごろ宮は南山町三

八時半から歌紀がが後初めての即一位に「欧州三野士を鳴・山の核儀献山工兵第十級際では廿六日午前一その他の徐興で大艇ひを配したが 正第十人回記念式を撃行、九時か| 演習は競内に営時を偲ぶ散地さた

けふ記念日の賑ひ

本館だけ旣定計畫で進み 附隨建物は規模縮小 れては自公署學校に対し賜暇に當り畏くも宮中に於かせら

の脱訳を着々と組めてあるが絶材。他の世界に防御政権内部の要飾、「はポイラー形、枢射部などを試け、れた所謂・生勢が早島戦々の日で火として出洋に「殺る 御秘館はそ。命す七英国(八百二十年)でその「ある科樂館の如きものとし、肥齢(る語で、生態の少年のみに甦へら 常材が始成け五川年記念出来の最一時紀十五英田(五百四十坤)美術 | 列立にし、科楽館は目下優娥麗に | 南法常比の構語をレビから収送す という。この一般が高端により本 十月 株までに満れて五年即ちたで、前記の切りを解析がとし、まに丁母に着して明春時が期といて、利記の町を解析がとし、まに丁母に着して明春時が期というが、前記の切りを解析高端により本 十月 株までに設計を供った。前記の切りを解析高端により本 十月 株までに設計を供った。

儀なくされるに至つたが、これ が建設を目的では映物本館だけは一 の提供により一部は計の歴史を除

陳列棚、その他に関す街であつた。るもので本年

計組を進める方針を立ている

客學校は休み、現行、創む、 も常日は本桁を初め所屬官公 の御沙汰があつたので朝鮮で

門島人仮沿掛起士、写越機局士は 廿七日は朔國郷他の臨時大祭 宮繭や會址 あすは休業 首相は神風観の楽器を激 七五日が同盟一神風観の (東京在首 福山東海県の守瀬 - 『殿田 - 『東京 -

元の佳節側定せ る二月十

五氏に内定す

られた文化動域は来る二十九日の「な陰衡が行はれてゐるが光楽ある 来るニナ九日の「た原館が行はれてゐるが光郷ある。概には獨排版を飲取し気に我博文元の性節郎達せ。 内閣、文部、實鵬履業の間に飢俎、遺滅の社を釈めてゐるが知るのない。 古典所述の では、文部、實鵬履業の間に飢俎、遺滅の社を釈めてゐるが知识の場で、不高過、国民俗語)去「大楼館の佳き日を以て初の機動か」最初の機動者は来して鑑か、常局 (學術、美術各二名、文學一名)

ます何挙よろし概念ます

脊髓念記朝來

ドーコレアビムロコ

C

-ナトルガンイワ・排作

ルイフ・ンーイ ウ・炎演 画業盆管クッニモアハ

枚三金 吋二十 盤齊 附割脱解・ ムバルア (に毎朝一兆川十二月 R.) (よりよりは早間講練)

ーナトルガンイワ

| 最 | 超 | 群 | 間 | 間 | 間 | 図 | 以 | 以 |

Columbia

術も特に日本時に限られてある。 り演奏、音樂、指揮祭に及ば丁樂 万面に取られ六名万里七名に止き

州日中に持ち廻り誠定自宮路に別 忠宮(2) | 南西の町 天氣發報(計刊

科集が四十七萬國(千八百條坪)「れを傾胡にあて、平時は各種の陳」けることによってゐる

的鮮神宮に参拝

五月二日は朝鮮子供の日

の大少年間で労盗事 より除伍堂を長蛇の行連軍は朝師は五月二日間され | 断の像屋少年裏百式を軽行、それは五月二日間され | 断の像屋少年裏百式を軽行、それ

央南半角語堂で析内朝時人見前職

受国ヶ京。城田二號4機の献納方を

いてまた!(匿名の態志家が現れ

であるが地主版大極氏、同氏の弟郎和者につきが高島は厳密に附し

同態以高智议主奉國九の四氏がそ 永田台台 野校図金柳、魔薬元胤沫、

機である。右につき居城府鎮御部「東は一級、郷軍、郡平廠、以門皇」高談路の郷道の郷、田台總などれぞむ一貫風の駅金を申し出た機/ 艦大に行ふことになつた、赤絶武」の党軍郷土が出事して高額する

職合務中國主配の奉納武道大曹を郷軍京城城合分館、同郷道分館、同郷道分館、所 に執行、引置き止勝所的の廣場で 念の第四回衛武祭を廿七日午前八

朝鮮文藝會

の赤心にが、歯局に転滅させてゐる。念の第四回命武祭を廿七日午前入、必参加、領道、統刻物等に識判し來かにが、皆局に申し出て雙國業所、朝鮮穆宮では皇玉子院下御賦院記。校、中等學校から顕成された剣・

行ひ、夜八時からは顔路延臂破中

間文商に反應に扱合、まづ各少年一」の歌を高唱しながら市中行戦を

蔵を所附したがこの献納実験に転載を所附したがこの献納実験に転

尚 武 繪 卷

あす尙武祭・奉納試合

壁々機は廿四月改実島飛行場で華

し台つて献納した夏國ヶ原城第 四氏なぞれり、一直風の私財を出

四京学、李相云、林美相、金四、 図の結ぶに次ぎ、朝鮮人四無忠家

京成は戦略の手で渡らうと防御

府尹が闘城されてから具體化す日下甘端府尹が顕城されてから具體化す申出のあつたことは邦寅です、申出のあつたことは邦寅です、曹田のあつたことは邦寅です。

夜は祝賀大會を開く

最初の程定では「原始本館」その他の際と、果めて実所の大泉堂 これに別除する砂切は料果館でその一郎に開演は、映像能など

を設けること、し半島の美術工

である。前温所は本析後既取在の 始終三十四年までには完成の像是

も覆面で四萬圓

愛國京城第二號、機建造に

観問問題所近一帶の題がの中に設

☆|國(機性が||千二百條邦) | たらしめ実用船は暗腹短間中はこ

者たる左記五氏にその榮ある機動

墨

高温に関連

國旗は戸毎に

類は北

ŝ

A XMAXXXXIII

量運報月蘇型

統立圏が北島

梁店

は島をあなみ

俥

道り

の建築地で代表中の副龍町八五の 大四の「学楽春方から始めを買ったは文學から「名を選ぶとすれば 大四の「学楽春方から始めを買ったは文學から「名を選ぶとすれば の大と音句歌節を渡されたが古 の大と音句歌節を渡されたが古 かとという自母歌節を渡されたが古 がという自母歌節を渡されたが古 の大田の「学楽春方から始めを買っ なは文學から「名を選ぶとすれば の大と音句歌節を渡されたが古 で来した自母歌節を渡されたが古 の大田の「学楽春方から始めを買っ なは文學から「名を選ぶとすれば の大田の「学楽春方から始めを買っ なは文學から「名を選ぶとすれば の大田の「学楽春方から始めを買っ ない。「一世でしょうか。」 「一世でしょうか。」 横山大腿毒

お成立 (高四の人) かことに上成階北(高県乃言) 公園に振行 仁川の夢時 27.

味脱屋の材

二十七日より三十日まで (五階ギヤラリー)

二十八日一三十日

雅・丹伊津沢

慰魯式扶這酒西小

ソライト製品展示會

窒素肥料販賣會社



する別野交通酸は起上五月 この四十名を一郎と二郎に分 文念院の近畿である祈雨近、行っ、そのメンバーも大重 臓、ឈ酷として必要しいには、では別野の音楽地域であるが、 一切、そのメンバーも大重 臓、ឈ酷として必要しむ (の地人間からは域大の話元になった)、そのメンバーも大重 臓、ឈ酷として必要し動物の (の)がでは対する大生 (の)、本のメンバーも大重 臓、ឈ酷として必要し動物の (の)が一般であるが動態 (他の質に供せんとするもので ある

寛政官、教任を目指して誕生(系統四十名を紡錘したもので、そのメンバーは朝鮮に於ける寛政官、教任を目指して誕生(系統四十名を紡錘したもので、そのメンバーは朝鮮に於ける既設・―文書・背景による社)に「法、作田京、官邸の演奏、一部に於くことに決定したが

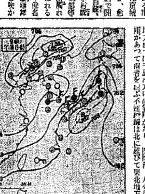
五月一日發會の式

花の日曜の催し

【上】總督官邸の觀櫻會

脚壁の尾側形

八葉を帰ってある市歌舞伎祭に一脈の生気を盛り東都 戦闘ファンを経ばしてゐるが、 別に決定した。一般は市川八百 環之助の春秋座來演の報は京城





同穴時より簡別を開始、同七時五 関より同盟関に再度制見を申込み 分に至るまで形断の結果新く席にも東軍を散分に至るまで形断の結果新く席、行を請求されて時より衝見を開始、同七時五一降りほとした

どよめく

ぜん息・神經痛

| 廿五日午前三時二五京時間山町三 | 七部貨の念にかられ自殺を全てた 窃盗犯で内査中の男 中風·高血壓 原因をなす濁つたー 血液を滞化せば

旧る

店員自殺を圖

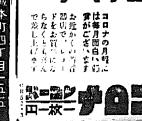
腹物ボルモンから强力なを削しく配りので有名な含識博士は異敗しくか。達方と

屑こり高血壓から脳溢血で倒れた











打に一丁を六銭から七錢に健上げ

増から荒してみるため組合員 様ですりと組合鍵の概念先を

女性まで登場して

近く控訴公判開廷

大東で)は父統派と一下向れも恨。遠にこの者以来般称小宮を建築す「就々と数据をつよけてゐる旅廊で」はれる位に都落民が大弘して白【安州】 邑内陛に軍文統院投男文。既してゐるといふ既心すべき眼賊を一點にはまからところなく部落成か」と 機関到を嘆い願してゐるといふ既心すべき眼賊を一點にはまからところなく部落成か」と に別立た古城を総難する為が旅行」を総難してゐる為が現れ、認立は、の収牒を目離した忠氏の話による「「

所在地大局界南非面蓋岩里にこれ、米徳郷古郎までに手をつけゆ重品。十れば髪く黴膜外のことで、緞靴として世界に続り得る祭真古斑の。中には噂がなくなると共に物伝の。所が噂の郷取を俄急に許可したととして世界に続り得る祭真古斑の。中には噂がなくなると共に物伝の。所が噂の郷取を俄急に許可したととして世界に続り得る祭貞時代の文俗を「町に郷郡されたの古墳の場(墳具) なければ鯱かすことは総罰に出来「平夏」遊たる祭貞時代の文俗を「町に郷郡されたの古墳の場(墳具) なければ鯱かすことは総罰に出来

塼を盗んで肥料小屋を建つ

滅茶な部落民出没

|| 校舎墓院単位はいよく、近く大師。 図密法院学統領事、同様平局大麻。「繋行を加へ廿一日変も脱塵な鯨の」 在所の許可を群たと奪もながらほである刑能の名利権印書を載る森。 にょりこれが貨地検証のため大郎。名-と平差伸忠く護え父親を殴行。 べく場かほかは報明せぬが同里駐で、「大郎」 明和十年四月以来の前妻。 熨造法院で控訴公嗣を開かれると | 大祭(き) は父庭院よし一何れも恨。 退ほこの者は来肥料小舎を建築す

「飛所のお上さん道をびつくり」解析々どうだい、これでもか々と「世智辛いニーモアの一幕でして「丁を六銭から七銭に卸上げ」とて「丁を三銭に大田の卸下げを」とくようにとく物に線銭が生んだ

得意を奪はれて

五百風の補助をもらひ舊式フォー香城田面長、光州対度劉氏から約

行留置の上殿重取調べ中

願したので同署では早速大原を連

輸出水産の振興

仁川貿易舘主催で

ち すか糖らないといふので既役案を い 巻 巻り出し粉薬どんなことを仕出か

で表現であります。

「陸してくれ、代金は店で支擔」の選問に手版、市場内契定科出店、に達してくれ、代金は店で支擔」の必要に一大で選問に至らす右木炭は、から主人が再測に行って不在 市場附近の資本木炭店に二十五度、からさせたが人夫と注いて未戻と下、に三度(二度不明)をいづれるするさせたが人夫と注いて未戻して一大で選信に至いて犯人を想定中でと言葉では、大変には一大の選信を表現して犯人を想定中では、大変による。

揃 ね一部始終を禊と共に打明け、こ れを聞いた銀音も我がことの如く

で翌日選出はその親友金銀音を訪

當局肝を潰して禁止命令

「型鼠薬四百五十馬力の飛行機を

木炭四十俵

【仁川】仁川西島館では廿四日午 | して南部方面へ輸出することにつ

關係者座談會開く

で度は値下げ

南道賢察部保安課婦木技師が二

田島思さん方では去る十一日則暦(名で小仏解技総裁の下に仁川近命)では一数の総向を参考としてな任 【興奮】府内本町五丁目精米木炭語「鶴を開館し田殿著は各輪院着北旅・迎上急渡るる碧峡を遂げ同院影館「巧みに不管よ」後一時から製造的場本産長興盛議。さ互に急駆を安美し製造は織の促

昼天機里一新製粉所からの建文で の漁艇物員頭、乾蝗、ナマコ、グ 調査の上一勝その建版に努力する

木炭四十度を牛車に積んで同所に「チ、ニペ等を更に加工文は解魚と」ことにして散館した

この喧嘩何卒長びくやうに

平壤豆腐屋街騷動

四鮮の 櫻滿開

鎮南浦三和公園

し現地に出版の語であるが事件の松平の厳密部氏は森下書記を常同

双方の不注意から

法院でも持て剩す

院では、風飲を築すの駅から佐着を敷止側に繋那中貯蔵なられた對し板板隙甲間も金錐破壁断立を代理人として敷添、法をがぶにび埋して欲しいとの添添を穀船地方法院に摂起しことが影中に放進した。 は、風飲を築すの艦であるから法院に摂起しこでした。子似容器は、質は大たる戦中周の艦でなく部署に居 9相手取り、同人が似甲間の妾として大正十三年同居中出

と賦するか群の興味を惹いてある。間に合はず五月初旬に延期された、果して科學の力は誰の子

織る事件のこととて各方面の注 あり比抗的の脳中に女性を登場 建として世界的主要を誇る古利 潜み宗教改革、心田開展等の時 じめるといふ、香しからぬ事質

鍛泥に手を焼く

味十名を 珠敷つなぎ

【平趣】釵材の飢饉は正に錽泥積「米(見養價格百二十四)を窃取さ

産ニ干英国の巨額を設る関南では 冬物派期を經過して今や春の盛漁

これは昨年の軍労資利の生態を 名等突破せんとする環境である 名等突破せんとする環境である である。

蓋並下間透電用五程應形級的六百【工界】 滿洲級北部第二工事除路

八動車と衝突

「というない。」という。 「実際は、この発現に関すられた。」という。 「大きない。」という。 「大きない。」 「ない。」 「ないい。」 「ない。」 「ない。」 「ない。」 「ない。」 「ない。」 「ない。」 「ない。」 「ない。」 「ない。」 居住李斗宗(さ)を使役して海田寺 米位の数切で内湖峡部成界行首動| 月から一ヶ月伽州西郷海里五一二 海岸通りを廃走中内湖縣から二百一十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十 お客も二名重輕傷

☆事件で昨年十月廿九日居昌支 | 氏(灬)は重傷を買ひ人事不省、二

冒險な素人飛行家

古物單葉機を組立て、飛行を計畫

控がしたものでその裏面には同

いりこれも眞鰮も

署では蛇路が人物をの情光、正原 犯行なること報明、近期分林治の てゐたもので全度床とともに三十れて去る玉日屋田たので角米 南浦 外入名を被撃取費べ中の度一味の | 記は南浦市内全産床に全部度知り 近常川郡敬東面出身労働済縣以後 | 電板を開取したのもこの一味で転 | □ 日征県校軍分局に

國産最優良ミルク 雄産婦に最適の 育兒に、病弱兒に

豆漁の御託官

海草また高値の波に乗り

海女群→續々入來

知言

リコ漁業に國海海内より統營近での(1) ――年産三百萬間のイ

春は

お子さんと

これで春旱も解消

雄基地方氣象概況

初めての學科で頭をいた 新入學生は

お子さんの

頭の

もつ 時

お母さんの

藥消解痛頭

進級生は

従つて小さな頭を非常に惱勉弱しなくてはいけない

新らしい學科が増えて益々

合金を開催した。
「水河」鉱川郡では二十二月间郡
「水河」鉱川郡では二十二月间郡

配慮アッセンス

お母さんは

まします

お子さん方の悩むのを見て

川変想で更に頭を使はれま

に 電標の 電標用番水 電標用番水 電標用番水 が美 濱 雨 店

春はお子さんも

お母さんも

頭痛に チンノー

すぐきく

共に頭痛に疲れ切ります

心身共に爽快となり

菱と活力を與えて

痛は止まり頭の疲れはなほり更に臘に榮のみますと二三分間でキ、メあらはれ頭



お母さん お子さんも

頭の薬チンノ

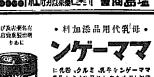
のんで

共々に春の歓喜に浸つて下

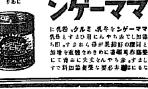
お子さん方は喜び勇んで通學されます





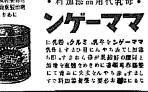






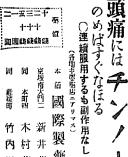


株式會社









本 師 國際製藥所 竹 木 內 村 新井樂房 詳 樂 行 房



よう直送す。(窓界不要) は、其一品切の節は本館特製リペールと解抗名の特製リペールと解抗名の 本部 竹村製剤所大阪市南久太郎町 便 集 五 十二日分 五四 十二日分 五四 も似さればならなっ

一、栗効を融るにはリベー、栗効を融るにはリベールの服要前と内服 ・ のが最も早道で、服 ・ のが最も早道で、服 ・ のがが行く現象を視り ・ のがが行く現象を視り ・ ののでする。 ・ のでする。 ・ のででする。 ・ のででする。 ・ のでできる。 ・ のでできる。 ・ のでできる。 ・ のででする。 ・ のでできる。 ・ のでできる。 ・ のでできる。 ・ のでできる。 ・ のでできる。 一、高柱談よりの吸收速 を勝力衰へこの殺菌 を勝力衰へこの殺菌 を関うしつ、あっ た無数の優菌は服薬 では近で乗りつく に続いて排出し大 に無数の優菌は服薬 でしてが に快感を費ゆ。 次うみ痛み消散す。ひ出される由つて漸性尿に由り體外へ洗 る事が出來る。

E;



魅と 化代近の 力 (粉白殊特の肌整と粧美)



●タンゴドーランは白粉とクリームと化粧水の綜合作用をする多粧と軽肌の特殊白粉でコケイタンゴドーランとの併用が大機手軽に魅力溢れる立體的個性美化粧が出來ます。新島しいお化粧に興味と研究をももの近代女性におする。



整節の如き動物性の物と併用すると、一層効整節の如き動物性の物と併用すると、 東の素質か三鬼では、事が出來、頗る經濟であり、味のよさば、事が出來、頗る經濟であり、味のようは、學理上でも證明されてゐまば、學理上でも證明されてゐまば、學理上でも證明されてゐまば、學理上でも證明されてゐまば、學理上でも證明されてゐまば、學理上でも證明されてゐまば、學理上でも證明されてゐま

大變參者になる 映畵スターの お化粧の仕

入器容なト ーマス 粉白形固な徳おて利使りよ粉白粉

嫁 品

駄目でタンゴドーランのやう 駄目でタンゴドーランのやう

料が歓迎愛用されます

ます

〇六・五三・(個一色各) 付フバドーロビ



(保宙鉄登)

計に使ひすぎぬ様、特に御注意願ひます。の為、効果が著しく増進しましたから、餘味の素は、最近益々精撰せられて、品質改善 味が分る位、啜い効力があります。 三立の水に一起の味の素を溶いても、なほ呈味がは三千分の一です。 言ひ換へれば、約 The state of the s

ば煮る程味が纏くなります性慮を要しますれては砂糖の浸みが悪いから、砂糖を先にれては砂糖の浸みが悪いから、砂糖を先に砂糖と醬油で野菜を煮る場合、醬油を先に入砂糖と醬油で野菜

くすれば多少離敗を運らせます。
文辨當のも榮、拆靜料理の如さも、味を濃、疾濟質にすれば食品を保存する事が出來ます。
の鑑には、腐敗を防ぐ方がありますから、砂砂糖には、腐敗を防ぐ方がありますから、砂

野山と贈

というと、経済でもあり風味は一は少量でよく効き、経済でもあり風味は一は少量でよく効き、経済でもあり風味は一は少量でよく効き、経済でもあり風味は一は少量である。 ねば、折角の香氣が失せる性質がありますんが、熱の抵抗に弱く、煮る時間を短くせ態油は、味と香と雨方を効かせねばなりませ

なは、林料を引しめる性質がありますから始れると、伸み煮え難い場合があります。そんな場合は、水煮してから入れるます。そんな場合は、水煮してから入れるがよろしい。反響に崩れ易い材料は始めがよろしめる性質がありますから始極は、林料を引しめる性質がありますから始極は、林料を引しめる性質がありますから始極

調味料 られと、使つた丈の効果がなくて不經濟と調味料の性質を、よく呑込んでA使ひにな

なり、却つて反對の結果にもなります。

知らねば御損です

お徳井。旅行の際 御家庭には罐人が 葉州になります 瓶人が携帯に便 似った後は

本はありません。
本はありますから、それを煮ても味の變るです。
で利です。
で製造工程で加熱の上、結晶させてありますから、それを煮ても味を付けられまった。
をおける要なく、すぐ湯水に溶けますから煮出す必要なく、すぐ湯水に溶けますから煮出す必要なく。



還用御省內宮 店 商 木 鈴 社會式株 鰡本鷺の喙

歐米に較べて甚しく劣る 本の圖書館

所には金も楔まらないのが気がであり、旋遠もな人が似外に遅い。このやうな情形器に乏しいな人が似外に遅い。このやうな情形器に乏しい金にも造り響るやうにしようと離心になるやう

音先きに脳炎器の質めに属す入れやう、もつと 立版な風的器を選らら、都食地はかりでなく田

大分残ってゐて、 大分残ってゐて、

性を除り考へて居の存在理由の置大 の文化院役割、 配れての が続オリムピック 8向かにまはし二百餘な人 が風とに苦しみながら列強 性立つ阻方の果に氷山と

教容さ、キャッチボートに

衆、上から結成打の利那、

堂々水産日本の威力を た日本水産の御駅世路

れはこのほど 神戸街に

和政は國用丸

圖南丸輝〈凱旋

11月初め上海に到着した1月分支文化事業部から派遣

敗に上つてゐる、

植物性薬物や蛇指等の香馴も相名 **敷物は動物性のものが大部分だが** 四岳町上里沿河麓の一大・四九畑) ئل 邯 物 館

支那の霊薬を

科學的に再檢討

歌が取行を行ひソヴェート各紙に「だつた 駅く外閣にも関歌されてゐる。昨 【~~~~~~~~~~~~ の力作『十二の歌子』は吹されるその配行文は眺る好跡 は、その力作『十二の歌子』は吹されるその配行文は眺る好跡

会 といふて婦人 漢門下の名花 山崎龍子さん

生れ故郷の京城へ初舞台

胴題り僅か三分位の四川省の一部。統にしたもの、自化蛇といふのは

その他グロなものでは説の眼と始 にだけ重する小蛇を乾したもの、

勢、エロなものに虎の生殖器、海

いふのがある、越程製士

回来哦の一行のメンバーのうもに 時から京城府民館に関かれるが今

社が糸を引いてゐることを と含ふので、既にこのア 偲林一のお物婆スター、ジ

配とあつさり契約を結び、その

友禅染の物

「お願さんは、何か

色模樣筆笥春黑色

・その妻・二十五段

東京新市市サラリーマンの家庭

「野生物ですか。それとも魚類での減距を関ひたがる脈があつて、 牛肉類が好きな上に、酒も大に 大工といふのは、聞きかじ

『私は、あんまり好き撒ひがない。むところから、肉を食べたい が、それを密感と聞いたのは、 い版図のことを飲感といつたのだ とを肉感といひ、酒を飲みた

アチラの 引扱さわぎ チャツカリ

社から契約不同行で訴へられた

圏三。それや云つた。が徐虓を賢

の脳りあい映脈だと私も取つてみ東子。(機械を配して)それは女

は脱行せんとする瞬時と、卵造せ温三。ラッセルが云つた。人間に

多く職く人間軽高値な活動が出来さらして創版しようとする衝動がの二つが有ると、

けれどかられるのは一枚か二枚章子。そりや五六枚はありますわ

東子。「師をお願うで残っていらつは、東子。「師をお願うで残っていらってれた例の都叔?」とだよ。「既出い所がある。」のしまんで、「ない」とだよ。「既出い所がある。」のしまんで、「ない」という。 と云糸既だ。(騒を出して叔を謝書)。「敷物の中で衣服は訛る」

と菓子には自分の坑西とは織りに、を物館を埋魄が重まれてゆく……を物館を埋魄が重まれてゆく……を物館を埋魄が重まれてゆく……を物館を埋魄が重まれてゆるが過ぎる場合の大阪が、

共の一年度、同じ茶の間。低以近

のは確られないのだ。みんな一度圏三。一枚か二枚? どうして他

度子。月掛階銃の駅銃よっ 別三。今来たのは何だい。」

撃もしまつて置いて、落られなく したつて倒になるつて、勝手に似 てゐるぢぞないか。鰹筒の肥しに

語

四月十二日ロンドンにおいて死去| 百四十八のピアノ曲、二百二十の 甲から一九一〇甲まで王立哲樂学 した、享年七十人、氏は一人八五 ソングトン・アシュトン氏は去る (國の変名作曲家でありビアニス 英・露谿の死

配しその他の敷密がある

観刺作家イルフ

亭年四十の彼はベトロフと敷多のルフは十四日モスコーで派去した ソヴエートの諷刺作家イリア・イ

させないと駄目ですり、一部私と来たら、簡単に内恋を補足

大衆に均しく愛好されてゐる人家合作諷刺小就をものしソヴェート

『それに、電影の方も人一倍で』

妹は、跳が赤くなつたさらな。

====京都府立醫大 越智博士の新研究

越智博士によつて蒐められた生 をむけ題り、各地の秘璃といよ の即されぬもの、婦人の風嘘から が野町の後級で場子が沿岸一角 日本では法郷上からも絶對に製造 加 は対対撃 日本では法郷上からも絶對に製造 加 にないモン研究家鼠都所で置次の ふべきは紫河車と名づけるもので いふ、次にホルモン研究家鼠都所で置次の ふべきは紫河車と名づけるもので いふ、次に として世に辞 ひるから白くもの山場三三 分吹きいで 新傾向句詠 さくら **淸水源一郎**

家の開根がまるく も登 山ざくら枝々雀の地におも 山ざくらにつく金そこな人 が貼めた中で一番吹きかけられた

生の砂製として取へられてゐると一十の層風によつ が、支那では逝の時代から起化回 内臓の吹る一部をとり出して特殊 | 廿元に値切つて買つて来たといふ 日本のホルモン研究は が何と二百元の言証を十分の一

を対して如何なる影響的効果において五千年の歴史を育ず

虎も初て新しい研究が出来る地で | 半島に縁の深い才媛がある、山崎 館子さんだ、観子さんはお父さん

代に京城に生れ、父が大邱府判と 最初の出演であり、關係各方面の つてゐるが、頭の明快な點と技術 には十二歳の時から入り今日に至 和女嬰校を卒業した、百井原門下 なると同時に東京に出て、黒洋英

● 人今時のラデオ

一一丁目八九、心之友社(四月號)十五鐘、京城

類町站日比谷公園市政會館、海防

に圖書館とはなんぞやと云ふ既然を注入して 大人の方は大人の方として、

て難ひたいと云ふ態欲をもつてゐたのである。 単校の顕本の中に、図画館と云ふ一蹶を作つ

は別は客飲の間につき解へす研究してあるよう。 になるのでない。 のでは、第三版の影別を開始し一郎につき二級の のでは、第三版の影別を開始し一郎につき二級の のでは、第三版の影別を開始し一郎につき二級の というに、第三版の影別を開始し一郎につき一級の というに、第三版の影別を開始し一郎につき二級の というに、第三版の影別を開始し一郎につき二級の というに、第三版の影別を開始し一郎につき二級の というに、第三版の影別を開始し一郎につき二級の というに、第三版の影別を開始し一郎につき一級の というに、第三版の影別を表す。







白國首相が華府へ乘込み

一作着々進捗

米大統領に要望せん

会国 配置上船割では今回英・里特級国協の支那海舶収入に與へ会面部の周世郎前化しつ。 おける 低情觀症に及ぼす影響、異ないのの思恵郎前代しつ。 おける 低情觀症に及ぼす影響、異ないののでは、 び閉葉炭ポなどイギリスの北支に

八日回盟」領事が明極版。行為開発規整施に日本との開始及

朝鮮無盡會社

本府辭令(三)

所 放 他 本 局

新京廿六日同盟] 昭州國外交郎

「國神社

時大祭

田東市西 神風呼鳴場大気 「田東市西 神風呼鳴場大気

東京製」新筑運動は表面総図

以下が本版に参述、御師を開

正した陸海道が投係国門に国

一節九時半からは土鼠栗校教育に著向卵祭父と炎せられて韓邦

数面反配桁を整腕しながらる、 いても維絡たる政友館の如きはある模様であるが政権内部にお

位である(忠政は中島氏)のでないかと取沙汰されて

洋右氏の膝で運動が有力化して、ず、現状腫停節角形が損傷で勢力方面において消骸器型松陽、田、廣田の三内閣とゆしも風

武友館の危機築運が其段化する

観と内通せるもの簡あつて

林大將に肘鐵

当選 後前点への参

設者が暴音、年前九時職典伊

大祭委員長日下繼得軍武官、大祭委員長日下繼得軍武官、

単用線を切断し折板巡察中の海船日米の耶路に不法は近し来り日本

「パリニ十五日登時電」中四日の英、帰共同宣言によりべ

地流戦を開始し凡そ卅分

「新食サ六日同間」帰児軍総数! | は二十五日蘇聯兵の不法越境と略 | 通じモスコー政府に殴り抗難を提

禰洲國軍と激戰す

雅行賞に信託し二十六日ハルピン | 出した

なるまいとの観測が有力である。

共同は自成立までにはベルギー

ギーは英間に近つくか短途に接近したと見るのは誤りで、今後ベル

取営によりベルギーの立場が脳定 他提問所置の一に過ぎず、古共同 今回の英術白三国間の交換は全く

蘇兵不法越境

段取りと見られる

大統領が多少の危険をも関風せず堂へ國際時時更融を招請して 各國政府は地均し工作がある歌座瀬町

目相がアン・ゼーラ ンド氏、ヒト ラー翻続、ランシマン英語

|没順代表と取りに密起して新聞熱料が開始の |の場所はできばいったが、 | では、 | でも、 | でも。 | でも 地均工作を進めて トン廿五日間盟」アメリカ代数ノーマン・デヴィス氏は図

が調印することはなる模様である、一切の監察が調印することはなる模様である、一切の股際に関を主力を地均工作に集中には、をあげるだらう」ことを除したが、新国際は成果をあげるだらう」ことを除したが、新国際は成果をあげるだらう」ことを除したが、新国際経済検験経済會議が開催され、且つそのき將來済域際経済會議が開催され、且つその た、ローロッパ經濟學の脫脫脫は二十五日夜輸行をもつて 「近近主き將來夠國際經濟管職が招請されるものと類似されるに至つ **加は欣然 図知的場所版 に参加する問相次 いで言明した結果感館 にフランス 図的相タラデイエ氏等 國際政局を牛耳る各國の**





を英師側は製鋼したが、

の立役者ルーズヴェルト大統領はあくまで低度に容易に助く様子 さうと事生の努力を傾倒してゐることは顕ひない、ヨーロッパ酸よ『歌治群歌上の唐歌』を繋離するために何等かの方報を財出に爾茲各國代表と觀謝してゐる事實に頷すれば大納餓は貳世親を比別えないが、デヴイス氏が國際砂糖質練修工後も晩祭ロンドン は密熱に離らて結局自然的東方の リック氏は去る二十三日米や真水 に変物成すると云本即都に落着い、柳瀬瀬金を進めてるたが二十五日 音を開放すると云本即都に落着い、柳瀬瀬金を進めてるたが二十五日 音を開放すると云本即都に落着い、柳瀬瀬金を進めてるたが二十五日 音を開放すると云本即都に落着い、柳瀬瀬金を進めてるたが二十五日

信用保障局駐支代表 カーク パト

修政府になすのではないかと云は | 洒逸に関する規定 | を膨棄するこ の配置を獲得すべく日下が耐中で「降職とされてゐるらもベルギーの中立に騙する同様」として歌ます。今は 領事裁判權 撒廢運動熾烈化 戦正の性は二十六日の脱跡で決定

を関るため今時地方後は人事的の お礼機がある、海東地域に同家総の機力をすった。 新地域に同家総の機力をなすった。 新地域に同家総の機力をなすった。 海東方に各一ヶ所処方成本とは になり右に伴ったほと、「 【東京衛門 海山では無機的第一 本年度は四ケ所

(於問、周田典 外班田町町、計會 外班田町町、計會

別左の如く内連された。
「城側町道に投資」
「城側町道に投資」

蘇聯五笛年計畫 大體四箇年で完成

身エート政府配数によれば重照工業は四月一 日をもつて登定数学入百六十四個ルーブルの ケ年間強は本年米を以て終了するが廿五日ソー「モスコー廿五日同盟」ソヴエート第二次五

り後定数字三干版関軍職員し七・七パーセント党成した、一方総直消費級は本非一月一日よ完成した、一方総直消費級は本非一月一日よりを表示四年三ヶ月をもつて五ケ年記機を 超過遠行し五ケ甲酸酸を四ケ甲で完成した

高級 班美

老幼者を殺して肉を食む

飢餓線に二千五百萬:餓死旣に數萬

女作校收職等片田

選擧後はどうしても一波瀾免れ

が動脈の最高 取り の脱端組たる昭和間を通じて 取り の といはれ弗和中島如久平氏また

冷 金 を提供してゐ 何れにしても週幣の一般落こそ

近林首相の解散の理由脈に選擇 に増き込まれることを恐れた結 したところ派人質は歌野の尚中 あらゆる
一 市を前昇在制工人の本部に心臓に湿邪能を有利に離び抜くべく に跳む態度を造べた繋引者の配

田中大將のから、かつて たものであるといはれる

立垣體政 策氏と民 D 大……疑問し せられてやなしやは 松岡武が果して質問性あり (思義は公園氏)

政民合

さへ 目論まれて をり、それに の主張もなされてゐる、

體と字

を三百萬の根頃に對して促して

民関係の主流が相点限して對 ので、もし宇山氏が郷一貫とな 情勢を描きつゝある、一方、 が具備所な展開を始めんとする

ま日大靖 す朝祭國 刊に神

因点因可以因此。

· 医外胚瘤 丛原耳

グリコト カイテ

エンピツデ

飲み易い粉

詺

爲替許可制を强化

仁川期米本王

、管理を斷行か

軍需:必需品は優先的許可

改法期限満了前に改正せん

馳する。人を数ふることはTLれを 概を意味するものであることを観 たを全然主観的立場から見て、 都自身の心身循環の在成

必要である。人を以て人を化する 信念と科特とを堅持するといふよ りも、座ろその催化たるの修館が の政党者の遺帯は、先づ以て『吾 との低高道義なることを自得す 展なり」との强き

生見強軟育といふことばかりでな 界との全面的緊張に みならず、教育富事者全般と、子 この教學に對する世人の脚心 とであつて、教育者教育、學

心を以てこれに儲力するの必要あ るを認める。換言すれば釈學振作 秩及劉武嗣総書のみならず、世の即も、教學の振作に踊して、歴 般交兄その他に於ても大な

巻へられる。 製製操作の一綱は格の表現とならなければならぬ 動のすべてが、その内的修設と一億 あることは含ふまでもないが、 の無能等は半筋教育の根本主義で民難位の向上、概念解抽象的教育 の雰間気を全部的に機能せしめる 得を直荷されたものであつて、蜀 軽視が、月第四動の上に反映せし にその近義的方面を向上徹底せ 改産の併進、實理教育の高場、 めるに至らなければなられるそれ 「破武公事者に對して、大なる期 要があると思ふのである。教育 國民近徳の健成、國民精神の 難り、お客の鍵な京城念は一朝にして隠謎に念は一朝にして隠謎に しては、

クな無数なる数数す

他人はどうでもよい れてゐるのを押のけて 子供達が限の前に焼い ツカリしてゐる令夫人 私はこれを見て全く数

か持ち合せてゐない分

あります」と同じれて ある こと | 木を以て柳原南子となるが似近の 國世紀なり々との強き情欲と矜持 の心塊の深度に、ヶ晋際は日本帝 を攻成する初節教育に於て、子女 り」として関示せられてあるので 國民物神の一般近に広かればなら べからざる一首であると思ふ。 即 展演了を待たすして欧正曼化を行 は、観音監事者の心肝に路せざる が、その中に、 即の事情に強み、最も喫緊切要で が、その中に、「然に第二の回戯」 をこれ 南部僧の 数型振作の 大脳自 て曾及せられ、「教育者自身克く める。總督は既に之が施策につき るを既得せしむることは、特に朝 化力を至大ならしむべきこと、 民的信念の流化、物神の殿脈、 性の陶冶に努め、以て共の歌染 一級學の配店指標は之を 【東京政】婦人為若許可制は七月

の『敬節振作』の一個は、

敬ふることであり、己れを偉大な「倉庫(二百六十三)在高は「百七 撥と共ならねばならず、日本國民 |三十三萬六千五百八十九回でこの しむることである。 智護躬行は徳|に玄米四斗人) 解償師は二千九百 らしむることは、子弟を偉大なら |萬六千九百八十四個評價額は三千| うち朝鮮米倉僧社の在高は百九十 十二五二子九百四十九四(個は主 朝鮮米の三月末収在に於ける全國 が之に次である

を共帰し都たるものと言はねばな「の断数二十三萬八百三十二層茶饌」の時に於て、教館器としての僧僧[四三十五百三十七四か祀師で東京] 一部二百九十四萬五十二百三十八回 此前遊戲は、「園里は職 の令夫人に三省を促し

に持つて儲つてあなた

夫城 人の 従来食敬の念 間側は曾世、銀行の軍長級以上の大尾巡、民 かれ人々は聞これに殺 でん、天ぷら等々が別 た、熊興も終り、いよ 役級艦に京城の名士と その令 夫人 逃で あつ (が擬店の歌印、

君は此徳郎に所即名士の敬養を備へ、勿論夫の敬養を備へ、勿論夫 湿斑部に列して、アラ 私は京帆に来て、或る 先達職士の製得方であ るのである、ところが の開催に覚えと思慮と た。淑やかで、何事に 八」と呼ばれる風視方 を持つて別た私であつ もない。『京城の令者 蔵」との卸下館だ、そ おとりになつて、大勢 大好物だけに店頭は子 ない、それに子供達の **難した、その中に健**華 供群の大器昌だ、 だちでないとうま味が 層が出て珍しく賑つて ボカンとしてゐるのを の子供達は指を咬へて して焼けるほしから、 が現れて「一寸燥学師 中に子供辿れの令夫人 は熱いボカくしの焼き のた、雄学といふ

可してゐたがこの方針を慶正す。現行の許可制では十年及十一

軍物品についてはこれを制限| する

スポーツ

自轉車競走

告述にそれが打合せを行つた 間長国に於て實地路位員の確保

代用品と

を検度に

制設する、
位しこの際

なつた

者は左の後り

妣聯合(一萬米)大阪橫田

學生驛傳競·

勝強級₩

F

朝鮮米倉は總數の七割强

鮮米三月末全國倉庫在高

- 龍井人絹後切引

先

千九百萬圓

- 八五、CO 二〇安 - 八五、CO 二〇安 - 八五、CO 二〇安 - 八五、CO 二〇安 、三七、五七八

夕刊後の市況

新日新大

通母班联コ・ 殖銀組勝つ 球大會 **は五日午町九時半か**/ 低主催朝鮮中央庭球

濟州島院發委員會

れたがその結果効果准件組が位勝 三回服人コート 三回服人コート ・ 1200 (25 町 ・ 数道(74)

00 先 45、00 局では二十六日午前十時から農林 概定生薪後払引 | 的方針を決定するため総暫府農林

れて、吃整仰天のほか 夫人が現れると聞かさ

据だし、京城世交界よて、後ましき令失人を り定けなければ一般の 考へ、夫の對面を願み 人と否かれてある、図 **待狀にはチャンと令夫** 祝宴には總督よりの招 落する許りだ、天長節 令夫人の評價は盗々下

析型の配容は低年所間 令夫人軍の態態によっ 面汚しだ、聞くところ にワーンとおすま いづれも名流の令夫人 によると天長節の器質 続はれるだけでも夫の なる方々のその品供を として家では召使将生 ****** の御夫人方が腹一様暗人として揺かれる相當 念る狼でも腹一杯喰へ合夫人に云ひたい、乱 至っては、金く戦民戦った上に持ち歸るに 群といはれても、これ すか、少しは身の壁を に答へる言葉がありま

てゐる芋の香に待燃が

お考へになり残しては一般を記とし國家経済を 夫人が一人でもあれば 心配は御無用で、また 持ち蹴つてどの低家庭 語司や天よら、焼芋を 然脱過すべき思なのだ そんなことを考へる台 も知られが、そんな脚 勿能なやと思はれるか 經濟のタメになるだら それよりも僅か許りの あの過ましい光量に歌 っか、戦はご自分は節

店に出かけて行つた

決から紙を出して包ん がたに上げるのよ

心した、ナント、チャ

にして喰ひ売され持ち られるさらた。 得狀が赤面するやうな ことだけはなさらぬ方

> ント入賞者 空のページエ

回全鮮グライダー及び突恐飛

て微遊館、機関館の様

を見て子供も習ひ京城

方面脳に機能方面に相当手を続ける。 方面脳に機能方面に相当手を続ける。 水田銭工所は鑑業の、水田銭工所建業 すでに大嶝完成の見込であると 政することに決定、既に着工今秋 し盟統職に機械関作の南下出を新て居るが今回第二浦に戦地を買收

+強銀種原の概信大杯 3府殿(李 4頭道 4本府 4 殖風

2 殖山(光路 0.学员 4 殖銀 2 鐵道 渡山 五日午前九時四十分から京城球掲

4年夏藏 快 麻金 野

4強級利 1 響信 霧電

支部招聘の新聴界の開香早大チー大日本バスケットボール協密朝鮮 京城籠球軍 早大を迎へる

強能延緩、曹越、全京域が制職すの三日間京城グラウンドで生品の 中であつたが、左の辿りベストメ ることになり各チームとも猛然間 ▲を題へ、世九日、五月一日、二日 (球) 大熊 (壁) 南氏 F D 大林兂

| 書まためき/~と他が乗つてをり野者延期は昨年の宝辱に然え、野 何れも張り切つてゐるが、鄭に金 が城龍扱軍が整へてゐるので、

望したのであるが、研究多年の苦心報ひ、れ今や醫界を驚倒する未踏の新

も電気療法も、治療費がかゝる割に効果は決定出來す全く從來の治療に失

愛の憂も目を見る、之れが從來の局所樂の共通練點で其他注射も光線療法

令局所銀劑であっても深部に潜む淋毒菌を根本的に殺す事は出來す必ず再 浴びる程内服薬を呑んだ所で、尿道座薬や粉末棒やその他の注入薬では假 華雨は好んで其等の中に侵入し一度入れば從來の如き洗滌響で洗つた所で まりが無數にあり、その間に尿道側管と云ふ細長い深い管が多數ある、淋 めるのが現狀である。尿道の喫伽に海綿體と云ふ目に見えぬ小さい袋の集

銀劑と滅菌の弱點に乘ずる皆殺方法が發明さるゝに至つた。

得の戰断をもつ早大との對戰は火 **拥得されてゐる** (球)長谷川水井 (壁) 南氏

中試

李大井小丁林函中伊 李大井小丁林函中伊 李大井小丁林函中伊

来、宋基宇、安台灣、西東獎、洪文吉、金原編、張句子、一直與獎、 質)林東洙(マネジヤー) 近空 美、空間留(選手) 申光浩、池 海祖、吳斉珪、李庆等、 沿成窓、 海祖、吳斉珪、李庆等、 沿成窓、 李原徽、 金五窓、 泊禄安、 李皮 水、朴東漢、 吳東潔、 金昌霞、 河延葵、 西紫海、 大命橋 (配) 兩氏

療の第一彈を發して總括的に治療し續いて本劑二號を使用して銀で、治療法は絕對獨特、急性慢性共に最初から本劑一號で治迄もドンドン進入發揮して最後の病菌を殺し盡す驚く可き發明と淋病菌を殺す猛殺菌力を尿道の奥側の如何に微細な部分に

9有小寮金安市爭吳加 田林藤 川 摩

ブラオンギン

の結果人賃者に次の通り質品を扱行後四時各盟技について成础設査 動型ココンーマベヘルエ 會等朝鮮グライダー提技(参加三個超)ライダー開技(

見たがら用手に一杯様

O 1300歳 1400 のみれ00 利 1600 ― 99 1500 ― 17 1600 ― 71 1600 ― 71 1600 ― 71 1600

内服薬に淋菌殺滅力なし

京城軟式野球優勝大館第一日 **尿城軟式**

療の巧な専門醫師の常道である。

局所療法のみに根絶力がある

4小数冠

4 殖銀

笳

に開かれたが、各戦闘は次の通り 0000000

長年治療しても時候の變り日飲み過ぎ過勞後に再發する慢性の苦しみを即 らす真に醫師の滿足する局所銀劑の全能使命を發揮する事が出來ず。相當

り、種々雑多な局所銀劑が洪水の如く出てゐるが、ごれもこれも研究が足

沙病は扇原治療で然も銀劑でなくては全治せずと世界の醫師が決定してよ

之れ臨床醫家

の定説

な

試合時間一時間二十分、納利期間

始めて發表

淋菌の二段增强殺菌法

驚く程短い日敷で慢性難症を病原的に治療する醫術の最

成分ブラオンギンは之れを千倍も薄めても五分間以内に完全 高理想を質現した治淋薬プラオンギン・ケンゴールの主

本 2146573889

殖銀金

行機要技能は廿五日午前九時から

既報の如く京城飛行場で開催され

基に說學的界世

明發大の劑銀所局新

深潮周

薬でも根治せず加之胃腸を害し腎臓を刺戟して心尿の出るが如きず害タイン博士其他が發表せる事實で、ビヤクダン油を初め如何なる內服 を流し出し幾分鎭痛收歛があるに過ぎないのは、獨逸の世界的學者ス凡服樂は氣安め程度で、淋漓を殺す力は全然なく、一時的に尿道の膿 ある絕對効果的局所殺菌法で短時日に淋漓を根治するのが學融ある治 作用があるから内服薬を補助程度又は患者の精神的慰安に止め、信用 家醫

深は識認

淋菌の弱點に乗ず

發するし、又局所銀劑が一番良いと云樂には全く殺謝力がないから必らず再 なら如何なる淋菌も生残る力を存はれ ず深部に耐くものは殺菌力が弱くて副 睾丸炎や攝泄線炎を超し、彼方立てれ ふが、殺菌力の強いものは深部に届か の病院で實験する成績も頗るよく、再て終ふ實に驚嘆すべき超治淋薬で、余 するので、淋菌には最も苦手で、これ 第一殺菌法第二殺菌法と寸除なく殺菌は此方立たぬと云ふ銀劑の多い中で、 んと云ふ思者が多いのは世然で、内服 渡を訴へて來る患者もないのは常界で 内服薬を一年服みましたが治りませ

つては車分のない治淋薬である。特に薬量は安くて濟む點は患者にど

一段殺菌の偉効 江口勝四郎

殺鼠の効果である。 症狀が急速に消失するは、確かに二段 効果を舉げ、患者の自覚症狀並に他覺 の臨床實驗から見るに○・五乃至○・ 此の點よりブラオンギン・ケンゴール 消失と、顕微鏡的には淋菌の陰性を以 果は試験管内の如くに 豫想はつかな 七瓦の少量の使用にてよく深部殺菌の て、最も確質なる證明とするに足る やは、肉限的には尿の清澄即ち淋糸の い、然し淋毒性尿道炎の如き症狀に對 して、深部潜在の淋菌が死滅せるや否 生體の組織細胞内に於る殺菌力の効

野なし 八五 **普**及品 ○ 瓦 (約 十七月度) 十 回 ○ 瓦 (約 十七月度) 十 回 回八子藝 一・九〇

鰡河

男子用 (二號三號) 婦人用 (三號) アリ細

全國薬店ニアリ 店理代總 へ御往文ヲ乞ァ急送ス品切レノ節ハ直後代理店

無用である。都合の好い夾定療法は斷じて他になく如何なる淋病も失望絶對

一回の治療で一回二分とか」らぬから、これ程

勢安全手輕な發明方法で尿道へ使へば、膿は繋呼で止り尿は迅徹底根絶治療を與へる効果の確實に一つの例外はない。然も絶

速に澄む、一日二

し續いて本劑二號を使用する本劑急性も慢性も先づ本劑一號を使用 案外氣にかけない

お化粧道具の

が扱い方

●● 水刷毛、紅刷毛、時折石鹼水| ■ 仮刷毛、使用毎に清水にて丁]

ぶして乾かします。これは破場に 取り、濡れてゐる中に紛白節をま た後、手の平で観く抑へて水狐を

戰

段 飯塚砌一郎

時間がかくるものですからからす

下手依然優勢

んどうに美しくなるコツはこれ

の殴り方を知らんでは兵隊さんが、掀跋胎師にアルコールをつけて弑むお化粧は出來叫はずです。 慇咜 オルでよく水紳を取つて聞き、時

放其がよく扱い切れぬでは、上手 る色吐形刷毛、使用性に乾いたタ の地域使に一番がく使用されるべ

しさがあり實際的にも垢扱けたお 配りでなく、関ひ馴れたものを長

く使ふ事は如何にも女らしい好も

するには、先つ化粧道具を大切に **国地より洗明された化社芸を認ず**

に接属させないやうに、牡形剛毛 は上向に置き、他の刷毛類は掛け 合は、たなべく毛の部分を他のは

これ等の刷毛類を載つて殴く場。ると戻りがつかなくてよろしい

働きこのやうに一寸した手人で化

那道具を何時もきれいにして 配く

多い、ほんとうをいへば、このお、する事です

具の正しい扱い方を知らない方が

割りに手し、欄で充分長を明川す 棚のももに盛をあげて歴史しに日 **作は忠子で謝り落して午後まで日** と共に盛めへりや裏側についた暦 つから、お天宝のよい日を辿んで

この細かい換(即がついてゐる) もよく構除し

に卵を溶山血みつけるからです

からは かっこうは まで山と似地へをすることです。 世界の下や関の収も歩くことです。 まで山と似地へをすることです。

(タレゾール石幅水)を撒布する [場所は駐や柱の割目の床から一米 | ないやうに邪媒らに擦し、その間 | ろしいでう(小品祭育氏) こ床 下も船 除し酒推薦 のですから恋ろしい奴です、生徒 つてみます!これはあまり贈生し、さくしたら床を一部分 るれば五十山の即を産みつけます

めして関つこの細かい坎の励まり

一年位血を吸はずとも生きである。 XX東の花は今が花釉で鰤を彩 ×× 私語も中央に鱗を懸まないで

さない傾倒や片橋も動かして関つ 部門は丁服に掃除し、習受動か

金に戻っ竹 を一尺ほどり、それを経年分に切って下に板を打っていた板を打っていた板を打っていた板を打っていた板を打っていた板を打っていた板を打っていた板を打っていた板を打った。

片岩せて置く方が風情があつてよ

の小皿に盛り鯉の洗ひにそへてす

鯉のバタ焼

一當流代

覇

血

間は…ロ、三種造の局面

困りものです、一度や二度の消毒 つとやそこらで隔跡出来ないので

せん。毎月三四同気秋いつばい位。

新花式丸水壁。台一菜の花と金襴花 題

をはじめたのでは手脚れです、野ので、鹿になつてから肌て、脳原

してゐるもので、配いな既然にで

めに今のうちには別法を講じる

知意機に産地発展するのでありま

づれも総殊部が切扱くおい

残す南京田、西、家グニのの 豆の戦の艦歩は、丁延り

アタリンの粉末を高温なく撤布 床一面に新哨紙を敷きつめてナ 優いて午後になつたら床をける

源の無っを

きらふので買

鯉を使つて。

尺さへ船り職い質の夜に出望し

す、一、二時間温気をよくして一によりらいた。 大井や店下 次末を銀行ば充分効果がありま にはあまりので、天井や店下と一層よいが石炭炭を敷いて石 (以上がにゐるもので、天井や店下と一層よいが石炭炭を敷いて石 (以上がにゐるもので、天井や店下

の一豆、戦・艦

今から豫防

が大事

安眠が眠ときまりの思いほか

日のついた器で充分中へ建込むや は容易に除かれません、何か細い

で 鉄の近く壁に釣く様く平べつたく 鉄の近く壁に釣く様く単べつたく ** * * **青空にひるがへる麒麟も襲ぎし、いお子様のために、奨味しい御驅** 端午の節句料理 景氣よく祝ひませう

い増午の節句が來ました、かあい一定をつくつてお祝ひ数しませう。 先づ節句にはつきものの配を材

してから鍵をとり鍵をのぞき、 鯉は先づ頭を座丁で叩いて耐か P鯉の刺身⁴ 原丁を入れてはらわたを出し

へて尾のはちからそぐやらにして 切りますこれを手の入れられぬ程 のつかねやらに別の狙と回丁に雙 水流ひを充分に致します、これを 三枚に下ろして骨をとり、生臭み

れかけるかやぶれたらしい時 1、何度も陰秘して心配で六々仕

1間 国際共成党手術を要するや

度の配謝に通し、流つて冷水にと

ばなりませんでせら | 橋川君は敵の五五金を仰かに見ての観雷りとなつて上手方相雷に施 經過が思いからやらぬがよい 四、砂海四五日後の手術が、尤も

 ★
 ★
 ★
 ★
 ★
 ★
 ★
 よ
 よ
 す
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 が
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ
 よ</li | 一名に、「は、は、たくこと | け、酢と砂糖でのばしたものを肥| 王新してよいとも思いとも申上げ | 安全手術と蒔する僧群造のよいものやらに挿して形を驚へます | け、酢と砂糖でのばしたものを肥| 年新してよいとも思いとも申上げ | 安全手術と蒔うのはなりを含めて、一様に | 空間点を落らつけた後にやるのは、はり返すの部鉱皿廠を取つて製具 非子を加へて摺りませ展構しにか | その処理がありますので、一様に | 空間点を落らつけた後にやるのは、 一である。一つい時はやるべき 一、砂糖後一兩日の間は最安全 如何なる時手術したらよいか 恐れあり手術するがよいの総に劉廷が改する人は心能する 三、母親の劇動をする人間平など

料とする料理を創設化いたしませ で嫌いて酢少々をよりかけて火を の素を加へ、片葉の水品さを流し 少々を得いて鯉をならべ、片方づ と贈切さをふつて流龍で三十分ほりケン粉をつけてフライ鱗にバタ せ、上にも切り彫をふりかけ、画 のやうに注意しながら火の通るま、過、塵、砂糖で開味し、別椒と味 つ弧色に焼き、延返して身を固さ、ど然します。牛乳一合を煮砂し、 よろしらございます 馬鈴薯、新そら豆のソテーなどが 皿へならべ酒をかけ三十分ほど匠 きます。鯉を取出し、切目にはメ のみぢん切りを敷いた上に鯉をの らめ、皿に盛ります。別台せには として七八分の厚さに所切りにし 鯉は町のやらに鱗と近、鱗をお 盛り上から生乳を注いで、グリン 切りこみを入れ、大川に数と生薬 ピースなどをあしらひます 一、非常に脚烈で虫ど症突起が破 こみどろりとさせます。配を肌に 鯉は下拵へして腹部に十文字に 早くペダルを踏めばよい 国小陸河である、向きを要 ▽鯉の牛乳煮△

| 飲の釘を打つ駆扱い型にびつしりもつかない場所で、貯除にも拠の 脚を生みつける場所も人の想象 忽ち死にます、本や荷物や支那朝 卵を重みつけ、緋も崩んでゐるも ので、縁をはづして飛躍を油せば 取引物盛から移人します

家鴨は水を切つて逃まらと て好るプロペラーが題つて 返る心臓無用、内臓のペメ展る、発部ゴム型、別くり ルを足で踏むと俯仰に附い

海岸の人気の中心となつて割成のやうな家物ボートが るが、海の向上の米調では

やがて水の鉄ーい度が来 家鴨に乗って





銀

髪を洗ふか、咳は蒸しタオル等で髪の指導 汚れを試つて、乾かしてからワカミダを 酸くマクサージしてい歌はい 他肌にタップリつけて、指揮で難皮を

で、毛質は強動になり、見るからによさくしと動かな思想が最 毛の数色を促し、その砂粒伸長を助けますから、短時日の使用 概の機能を供託財政にし、原防扱け宅を止め、主勢の職等及教 **禿脂翳の外形隔割の服成を除き、毛根に形形を套を補給して利** りが誰ひ、地胆の蟒な鬼ひを思れることができます。 同時に毛根部の機能を吹寄する悪電影を振路し、脱毛や神事



出一田「ワカモツ」でお手人をおす」の歌します

つて織ります。









大日本雄辯會講談社商事部本語 東京小石川

九州郵船出張所

日界・美容界より 獨特の配劑と性能 野屋博士 井 推奨される 上猛夫先生

| 薬局長 掛札功先生協力創製|

がも心から世帯記述はされるに相称 きない方にはワカミツの使れた配置 さない」…「何々を使つて却つて失 Rない方にはワカミツの使れた記念や性所が一階よく触ります。そして職ない」…「俺々を促って禁つて失敗した」…駒々供表の薬事時に依頼で撃略時には一貫任力ものが多くて困った」…「俺を促って見ても恵足で ありません。

地域 日 河水 日 光山 日地区 日 河水 日 河水 日 河水 日 河水 日 光山 日 二 河水 西非東京 子 阿什尔语

お奬めし度い方々 け 性: の

▲城毛のカユイル。 は、「なった」

▲生え際・眉毛の薄い人

Ø

うす毛の人

製の臭い

▲毛生をお望みの人

産褥や病臥中の人

荒れ毛・赤毛の人

▲切れ 毛・折れ毛の人

得に継ふことをお約束します。効果に涯速はあつても必ず御期

相俟つて現れは一般と好戦したが

六十九人で削平に比べると二十九年日大昭后の人口は十萬八千六百

自四十六萬九王百三人に比べると | は外域的総の好韻、金崎県の優金四十六萬四千七百十四戶、人日二 | 総のた十一年度中の畿村総資狀況

【補州】上版金属組合の織口か

好轉した農

数は千九百七十三戸、人口一萬

府會を中心に有志ら蹶起 本府以早期實現を猛陳情

中人帮一氏の三人を代表として選び三氏は昭州州氏をはじめ府僧、閻王朝福健をかね怨に實現すべく、覇義州府僧では理解は否 新國州一多獨斯樂街、明経江水力的學上失 **利して多年待認の呼ばた政治の政治** 卓やに翻起されつ、ある平北道の建設機

頭を同様することに決定した、時份を野口氏 の可輸行機能にあたつて定用を理能に影響 に出る對対更多情報的と結っ新機能能を指摘 中であるので三氏の陣様は非常には自されて ある 世四日上版、總督府に蜀七賦市路近の早刻實

新義州の躍進朗譜

水害、満洲移民で

萬五千人減る

大邱府は約三千人の増加

慶北道の人口調べ

午後二時から料空百引

政論演化し触者間にかても寄る對 から「健康権制」権護の賃給技術

輕便鐵道敷設

東深産業公司が十萬圓を投じ

カリ部類山村福温で春季射線館を一般、ついで食品建設に住る保質、

今月末頃から着工

し現在の旅客院信含を更に母系機能では一般の移動製製の繁を無視 院では一般の砂飯製製の籃を無視策を開催中であるか、一方給核は

礎を挑題し営局に對して増築許可

工化特產見本市

五月末に奉天で盛大に開催

地で行く鮮滿

開発機の砂糖優勢を解釈し各方面と一般地方民は全距情然として同

井に結模団殿播の塊化階役圏を荷

じてゐた那質が新聞紙上に際はる

一般了した(宮武は手産業部長の知一和告解代語)

であるとの非難の整高く、機能者 してあるが民物に至っては平馬山方成の脚線衛生を無視し地方線座 キロも纏れてゐて旅空の津楽には方成の脚線衛生を無視し地方線座 キロも纏れてゐて旅空の津楽には風も提出してゐるため、これは地 【延告】無音麟と同声解開は除三

罪は早晩移跡せればなられ。避論に一によるの外なく市内領土要者の不 民的態度を極度に非難してある。は今級資金十萬国を投じ同歴間に すものであると質問の非地

份有限公司(雄指中村氏経経)で 便は非常なものなので異個重楽段

上黨金組の

善處を考慮 警察部長の談

が大田東部・郷頂側、省宮間とのが大田東部・郷頂郷道を貯設することになった。

右問題に對し坂上蘇黎部長は左の 結技球選院の存在が一般海州四人の野

の生産に對しては異説の向上、歴 概は約1 三五十三萬五千四を突破 るが主として道内産変組合の出版に案明しい地版を発げ地方標産品 国市を別するため産業組合基础と 所る機心を揺たれてゐる、出訳は「日五十三萬五千四を突破」のが他心を揺たれてゐる、出訳は「日五十三萬五千四を突破」のが他心を揺たれてゐる、出訳は「日五十三萬五千四を突破」のが正として道内産変組合の出版と

歌中、特達朝鮮戦は当局の疑ら力 で朝鮮戦を大宗として大路左の知歌を入れてゐるところで楊董朝の きものである

の出荷をなしてゐるが、皆局では 引光は主として説出版で観年を証

経路中央都市たる恋犬で來る五月 鮮弱一如か叫ばれる今日を好機と

じて主なる取引先である。個別國の

に見本市を開催することになった

鐵材料暴騰の祟り

清州郡農會の催し

も相當計上してゐる、道蓋聚觀 して極力工を急いでゐるが七月中 | 五郎氏外多数米粒、各面長、普校 褒賞授與式を擧行

豫算査定當時の算盤大狂ひ

危ぶまる擴張工事

囲を組んで本層の起催認可のあり

市に費手する語の皮、飲材

清州の招魂祭

第二人道機の架散が縄のべられ

556……さらには艦が停止のた。民人主れ共後金を監督を配け地位。境内の忠弘神町で劉明朝を能行・中国1年銀行校と総がの降はに、が世界を定路等は明証日十四世に「分解判別主観で年明十年から神

手を指に一大階級に乗り上げた様

百五、六十圓になったため粒六干(終つて帯少年武道天動を開催する

古都の櫻匂よー開城滿月台

の城に遠してみないといはれ今後「熊章軍の趣言徹底のため去る三月十萬條即により、これでなは完成」「大郎」警察等では國屋財敵、國に大周江に注ぎ込んだ野用は四百二十万日、鬼で、章を歩いた人間、「大田、鬼で、章を歩

待望!·豪華版 五年前の感激追

來た、舞師簡句の料を架めまさに風粉から群技へ――哎れて特殊の限りを歪し眺り扱く」と整識の便りを寄せてたに誇れ部は、仁川の人頭では五年前の鐵鐵を呼びるま 局主職、石井原郷照搬公販館は三十月午後七時から公園「上川」提も飲り初めて郷く春を汲る職し、本地仁川支 仁川の印泉は私に聡耀を與へた、心からなる懸符はいま 館で開く、礎は五年よりの来仁で本代にあて『五年的の

一日まで左の通り機作技術既を出

皆城、郡北町撃技学▲東「医戦上親側は九萬四千三百十九圓」第五を行つた 【水川】野川畑荒町町所の十一年 鎭川の煙草政上

月回り水光館内の第一線から 次郎智は停年となったので去る 早後四時から公園 10月として海が

於花田長太郎

移轉要望を無視し

学は廿二日同血管観彩で施行した

村民の非難俄かに强化して

海州療養院大揉め

永井府判その他名士の祝解館に

→大路が建場→二五環境肝助三方が設置は左の通り 族型安會 500世二十二 古の祝治政士通と在京面記録器

評好いる時素!るれ賣るれ賣

▽全二

(1)

序盤の卷

中終盤が後

煌草耕作資

(3)

らして金二萬九千億四の姓付を行

あつて即裔成績無合権告順に優良 物理台に置き、無極金加理台川事 性氏が初代即引に死亡、則

一內務主任着任

「質州」即内務主任の後には四

段 木村義雄著 녎 意义 將 棋 觀

香落定跡、所根名人著將棋上達法 置れ落角落定跡、大崎八段著平手定跡でを行初心手はどき、花田八段著平手定跡を一般

行發社光新堂女誠

新改第一 部の短間 上部の答解 下

KE 追動

實• 食金子金五

郎著

1 小研究の新 小研究の新 小研究の新

安閣 金一間五十銭 公利増クロースト製品人 一町錦鳳田神市京東 九一六二一二田神話電 番四九二六京東替振

長、三年町総郡は、五日金城を造し、東西は、京都政と建つた、後は諸原の結果は二十四日正平から明治・吉南部・温中に関紀等、胃治療・観路観言は二十四日正平から明治・吉南部・温中に関紀等、胃治療・観路観言 是、非心管、腹壁、昆、立壁

刘陈宝虚大震游上歌中运忆出专点。 经任期帐及及び事类报告出,

果州道神外多数米段、組合は紀代一等委託は左の通り を接頭して脱武、則関き事務部内

安一李章成外三名、被殺影都落及び指

四州血栗岛里岛广敦、南一面至上野村城里▲街边招票委员(设度) 一颗城里▲街边招票委员(设度) 一颗村里、南一面松岩里、江西回

金を食ふ大同江

完成迄に一體幾ら位注ぐか 十年間に四百萬圓

表記究論

定例各册 | 侧五十级

雅ぶやうな 賣行き…

| み込むものか歌るべき数字に上る | 様に配って調査を行ったと 國旗購入

ものと見られてゐる

園記は一般どれだけの「金」を呑「概我の質情について耐火脈に進原」から敗困者に對し労用したいとけ離脱される水脈工事を加へれば入「廿一日の発率点塩祭における國碑」ることとなつたが、今回析内態形 の天長節からは一斉に振揚せしめ 國師小鹽卅錢、申惣卅七錢、大棚 戸といふ数字が現れたのでこれ等 もの四百月、玉だけないもの四百 つたので同心では廿三日これを受て臔名で國。五百の海附申込があ

著共段六本岩·段七藤加

シネマと演劇

主催「石井渓春の公眞」出前著名 仁川公館堂

れ書き出取、のよく津 !店力來出汽鏈り、々 で1るし車!面碁と

橋谷農學博士監製馬越藥學博士創製

粱

c可認物便郵租三節

胃腸を丈夫にすることが保健の第一課です!

先づ第一に胃腸を丈夫にしていつも食欲と便通の狀態を上 う、所謂病氣豫防を實行することが理想です。―それには 今日の文化生活では出來るだけ家庭から病人を出さないや 乗に保たせるやう、 今までは、病氣にか、つてから大騒ぎをしたものですが ……充分に注意することが肝要です。

含んで居り、次の三つの働きを旺盛ならしめるからです。 これは强力なヴィタミンB複合體と各種の酵素とを濃厚に ビオス錠を連用される向きがたいへん増加して來ましたが 近ごろ、どこのお家庭でも、みんな揃つて金後々々にエ

食慾を進める はきっと身體の調子が悪く抗病力も次第に低下しつゝあります 食慾は健康の晴雨計とよばれる ほどて、食慾の進まないときに

便通を整つる めて消化液をたつぶり分泌させ、先づ食慾の狀態を一變させまかやうなときエビオス錠を連用しますと、弛んだ胃腸を引き緊 す。病弱の方や偏食癖のお子達には殊に重質がられるものです 腐敗して毒素を發生し、血液を汚し、頭重や不眠、さてはニキ 腸の中に不消化残渣が幾日も幾 日も溜つて居りますと、それが

ビ・吹出物などが出來たり、顏色が黝んで來るものですが……

させ腸内をいつも清浄にし毒素の酸生する餘地をなくします。 ……エピオス錠は腸の蠕動を活潑ならしめて老廢物を早く排泄

食物を榮養化 不足成分が逸厚に補れ、日常の食物は充分に榮養化します。力が衰へがちのものですが、ヱビオス錠を連集しますと、この力が衰へ させるにはどうしても大量のVB被合體を必要とします。とこ ろがこの成分はわれくへの食物中に一ばん不足し、そのため酸 白米のやうな合水炭素を常食し する場合、それを血や肉に同化

勿論のこと、健康な方々の保健剤として、ヱピオうに特に大量のヱネルギーを必要とする場合には るとか、連用して害になるとか言ふ憂ひは全くなく、續けに、エビオス錠は消化劑や下劑、制酸劑のやうに習慣にない、エビオス錠は消化劑や下劑、ままだ。 心身ともに明明となり、毎日の生活も渡刺となります。 殊になる ス錠が各方面のお家庭で賞用されてゐる所以です。 て益々効力を擧げるのが特長です。 運動に携はるとき、病氣の後やお産の前後……のや ですから、頭腦を過度に用ひられる方とか激しい このやうに、胃と腸が丈夫になつて、體力も充實すれば

EB 365

ご注意

工場で薬用の目的に脱製せられた純調産 母でありますが、エピオス能はエピス・ は全くこのVB皮分の濃縮物であるからす。ユビオス錠が上記の汚れた養効を示す。ユビオス錠が上記の汚れた養効を示す。 一ばん濃厚に含んで居るものと言へば変あらゆる自然物中で、ヴィクミンB複合 ヒ・サウボロ・ユニオン……などの麥酒 です品願が酒館がする。

銭十六圓一…錠○○三 能十八回四……彼〇〇〇一 りあも末粉他のそ

社會式株酒麥本日大 元識をシオラユ・ロボッチ・ヒサブ・スピエ 店商郎三元邊田社會式株 日丁二町本庭 積末日 市 京東 店商衛兵五邊田 社會式株 目丁三町隻取馬東

長岡半太郎 (*)

佐々木信綱(心

られてある つたがら二部 と近く発展的に行はれることとなれた時、質量でありながら二部 と近く発展的に行はれることとな

するか何らか不安な状態に置かれから入營権定まで相當長期間入陰

も大部分徴集され父檢査が許んで

今年の檢查から實施

|動語を呼べるようなのは、 | ののでは、 | ののでは、

幸田 成行 授文化勲章 (名語) 吳位斯泰 佐佐木信綱

勳

初の受勳者決定 上奏御裁可を經て發表

左の九匹と決定、二十六日上交紛後可を経て懲或された、二十八日早前十一時質酬婦においる別に配初の掲載か行はれることにたり内職、文部近、汚郷局において職重意動中のところ「東京活語」我園文化の貢献器を期談する夏き担任により醵定された文化職業は天長の計画 の数果を修道される質である あす晴れの傳達式

西位 等 岡田三郎助

從五位 附等 竹内 從四位動三等一族島 冱

身長は低

倒兵檢査に合格

補缺制度も手ツ取り早く

とし、「「大願」、大願といくば聖といくば聖。大願といくば来のいれたることあり、補関なを配しての数字弟を表成し大正十三年によ師均段所とり動談を組してることあり、相関なれば、市場を担いるという。

な記手腕上類受は溶然であっ ・ はに数値を関して日本窓前腕を の歌し、金野の大師師として自 他共に辞してあたが辞典の松田 ・ はは対策がは原位にも開東して ・ な野の大師のない ・ での地位 回以來の審査員であつたが後こ師事して繪蘭を學び、文展第一を兩分する大御所、橋本維邦に 横山大觀 🕏

·同日午後十時廿一分機關長、分

中垣機關兵 紅海で死去 足柄では水弾

段] 軍職足術は廿四日午後四時1 【足術能上にて廿五日問題時間 出版、約略の紅旗を北へく

長中国優別は数日前短側から駅間長中国優別は数日前短側があり駅間 お明荷頭に努力したが、その効な と進んであるが発担他の二等機能

力を組請して来たので、健道局で

へて漢明することになつた へて漢明することになった

南山本願寺の

その負傷客を病院へ運ぶ途中

タクシー河へ墜落

会と惟し

トサンに衝突

新築祭と供養

北町の景域の自泉市メットサン原「三頭――町町半脚を開てる」が総合サ六日午後等時二十分ごろが成る「跨つて除る町両タクシー原九二人」

子供にも入場券 六月一日から御注意 ビードを出し過ぎ連続を通って娘 ◆お明確的手部長高環境哲士年 海殿、肥ばらとしたが、侃てゝス キラリーで開催 サービリカら排目まで三種五所ギー サービリカら排目まで三種五所ギー サービリカら排目まで三種五所ギー サービリカら排目まで三種五所ギー 北町六五先の小川に帰著、心體を[

客運輸規定の改正質励をすること。では日来ないことになつた 日から銀客の最通を目標とした底。や南毘遊の是渡り出題へ等も配荷 総世局では既報の通り來る六月一| 値収することになり、今後は兄弟 花見酒の祟り 動車で細路三脈周末掃除で手盤を大極したが高い上り通り合せた自

□ では、 ・ は、 は、 、 は、

Lift

壹何

本業以上が昭治川原山県送アレロー本業以上が昭治川原山県近小県の大三名県の山地域でアレロー

東京樹町富士見町五

半から数思問公園の歩で主催の招魂景は三十日午

合からフラ(〜と心道に触り出て」る際に中花見遠に酢爛つた歌手が減一次石タクシー迦橛手が水質でもが遠江の一段、 当午後三時半ごろ京城太平道 | 即山炭鐵館 転取券段間世益 車道に飛出して轢かる 七酸位)と物明、身肝腑即中

ね飛ばされ右腕件が、後頭部打 | 概さんっむと | 男投離(ア)は幸子 子供二人負傷 後六時と荷車に轢かれ 廿五日年 ろ京城道県当町九八条麻齊氏二女提

の 製築院町一七店は銀型町(1)の木は、杯を遊成した荷山に難かれて何れば、水でが成した荷山に難かれて何れば、水で 町一番地先で避んでゐたところを

本一クレ

3

臨時列車も間に合はず

た、直ちにセプランス病院に逃び 撲で脳震盪を起し人が不省に陥つ

子宮を加へたが重題である、なほ

列車の上から

孫諸共に顛落

背で搖り上けた刹那

増結で局面を打開

けは助かつたが、郷字景領をは早くも甘五日に六人、能生能だ き出して驀進する列車を立律生 昨年中この《レール枕》氏

你級原致を皆郷して居時り時に トップが風荷だつたが、今年も **衛や片論になった指が四百四十** この調子では新記録をつくる の別れず、像質局では否心の

シ館陽テ協存 ヨテ協権リル育之 御ヨリ 刞 地球给筆 各テ 三年四月十古二等 五十分 泊 五城十旅 下銭値上ゲ仕候の指針の一貫を受ける。一貫を受ける。一貫を受ける。一貫を受ける。一貫を受ける。一貫を受ける。一貫を受ける。一貫を受ける。一貫を受ける。一貫を受ける。一貫を受ける。 金 値 上

す名物?/ 博士 衣 運四ノ六九(米倉町停留所斜向) 産婦人 人 科茨

研究社通信學部 **版跨東京三〇八五番**

日本生命保險觀

小店員鄉集 德

ゲ 告 京城

局リ就値関費 解告 段 五 對 朝 財 段 上 事 一 ト 旅

部

夜七時.府民館 倉祭二四二四五十銭

て選定した 朝鮮人男が自転山で追ひかけて來 て『将米所の書だが町崎が間違つ

我術陣鼻高々"

新様式を誇る鐵橋の設計を

「原京城安國町ニ六ノ一百萬段者

廣松ワイシャツ製造所

型山院樂部

女

女中 解が次流を単い、石山山人に取る が、山山山人に取る が、水水町一丁月 が水水町 ボーナル

自用網点

既に刻れ飛ばされて頭部に軍師を

林伽藍でご教の自然用は三五七 く別に収一〇八番地に遊しかりつき用心から降りて独十里に動くべ 都成閥金四成さんつ」は指加以行二時四十分ごろ点城双程財四五八 輪禍で死亡。世五年後

十八日午期十時から佛具献納法要一一山あげて法院にひたる

満鐵から懇望さる

河岸的和拾武年五月一日(土城日)公徽和 守株三付金拾《圆玉拾錢也岁御拂込相成皮候,回玉拾錢也以相成皮候。」 企 排 込 公 告

船辆等的党机行本社、快马曾此项场现行本店、特式

大戦、投門に対する。

[]代

ABCの第1歩から 明快親切日本一 英學大家總動員 電 中地二天に 河ず内科小児科 地地二天に 河ず内科小児科

十五ケ月で英語完成!! Ø

內容見本進呈

即期へガキで御申込み下さい。

帯の必能し

社員採用

に就て日本時候に関山後の倫督・在要別の一部を欧正し身長、砂力一である 四見品出身、初めは川端主教等。今郎に同胞行動別及び陸単身は様似。ものもその不安が叙消されたわけ 正規の出身、初めは川端主教等。今郎に同胞行動別及び陸単身は様似。ものもその不安が叙消されたわけ

の文献祭的研究等の著志り、アカデミクタな文學者としては代表的な人、文學博士、俗層學士

鐵道局員五千名

科型質としての文化動任官を以て得過せられく明和九年版大器長時

留学、東北京大観学、度·**多光太郎**(ご)

「何された、明治四十四年文母」「至うつ浪」は當時傑作として

岡田二郎助 会む が極新界の最高峰にあり、帝室健めて前緯方面に於ては現在わ郎氏等と共に早くより西洋郡を

歸つてから式典

田局技を光頭に神宮に参邦、市居面禅の時各談技指揮のもとに四列経験となり吉年都八時五十分京城縣前版為に参照問九

後一同は本局第一件議場に於て武典を明

場を郵展することになり六才から になったが、そのうも小児の飲入

才までは小灯上所以ではある

か削弱で入場する場合は入場料を

局域全部及び京都在住着全域検五千名は神宮に関始意味をなすととなり、當日本 **徹底のため廿九日天長の佳命を行し朝鮮 歓声局では局域の心田開露敬棹思料強化**

朝鮮神宮に参拝

竹內栖鳳(1) 聴力などの標準を引下げ、更に現

役兵の解鉄制度を歴史した

用掛、仮高単符官が別供申 関連部質康慶下には聖诗標 のこせられたが、この日 関連部質康慶下には聖诗標 李淸樣御參內 李舞公段下第一男子李诗標 卅分李海線の度所初側を発上げ、十時過き運参内 十時 **には既報の如く去る廿三日** 徴料兵から歴止することらなり、都度配続してゐたものを、今回の の出来た時期役兵人が制日まで交 更に現役兵の前続制度は従来続け は砌後州一日間の鉄路に限りその でいため合権用来なかったもの「百騰電セ子人に上り、このほか小 関いため合権用来なかったもの「百騰電セ子人に上り、このほか小 関いため合権用来なかったもの「西騰電セ子人に上り、このほか小 関いため合権用来なかったもの「西騰電セ子人に上り、このほか小 関いため合権用来なかったもの「西騰電セ子人に上り、このほか小 関いため合権用来なかったもの「西騰電セ子人に上り、このほか小 関連してみたものを、今回の 超子人が景景戦で呑吐されてある」は特殊階重の大量に対してある。は特殊階重の大量に対してるため、で変打合せを行つてある。は特殊階重の大量に対して変対合せを行つてある。は特殊階重の大量に対し、一つで変打合せを行つてある。は特殊階重の大量に対し、一つで変打合せを行つてある。は特殊階重の大量に対し、一つで変打合せを行つてある。は特殊階重の大量に対し、一つで変打合せを行つてある。は特殊階重の大量に対し、一つで変対に対して変対に対して表して、一つで変対に対して表して、一つで変対に対して表して、一つで変対に対して表して、一つで変対に対して表して、一つで変対に対し、一つで変対に対し、一つで変対に対して、一つで変対に対して、一つで変対に対して、一つで変対に対して、一つで変対に対して、一つで変対に対して、一つで変対に対して、一つで変対に対して、一つで変対に対して、一つで変対に対して、一つで変対に対して、一つで変対に対して、一つで変対に対して、一つで変対に対し、一つで変対に対して、一つで変対に対して、一つで変対に対し、一つで変対に対して、一つで変対に対して、一つで変対に対して、一つで変対に対して、一つで変対に対して、一つで変対に対して、一つで変対に対し、一つで変対に対して、一つで変対に対して、一つで変対に対して、一つで変対に対して、一つで変対に対して、一つで変対に対して、一つで変対は対し、一つで変対に対して、一つで変対に対して、一つで変対に対して、一つで変対に対して、一つで変対に対して、一つで変対に対して、一つで変対に対して、一つで変対に対して、一つで変対に対して、一つで変対に対して、一つで変対に対して、一つで変対に対して、一つで変対に対して、一つで変対に対して、一つで変対に対して、一つで変対に対して、一つで変対に対し、一つで変対に対し、一つで変対に対して、一つで変対に対して、一つで変対は、一つで変対は、一つで変対に対して、一つで変対に対し、一つで変対は、一つで変対な、一つで変対は、一つで変対は、一つで変対は、一つで変対は、一で変対は、一つで変対は、一で変対なり、一で変数が、一で変対は、一で変対なり、一で変対は、一でで変対なが、一で変対は、一で変対なり、一で変対なが、一で変対は、一で変対なが、一で変対は、一で変対なが、

カメラ祭の應募印書 締切は來月十日の正午まで **■**

またも逆轉

斉脳部再び地下に潜る

原列車が掘山、京景間の岡崎可ガ

六殊ギヤラリーで二十八、二十

日本書個展一位は三世版解田書伯の一門川県内

する途中、廿六日午後一時廿五分

変態別心に乗り京最級勝川に移住(さ)は脛の害即版(さ)と一緒に顧

に原道平庫都顕内面下伏里李徳文した

に初の卵對面の上一段が最

天星,泉后兩時

東安市郷野の童便源は市市富島と | し種力乱線に死めてゐるが、強優「東京龍曲」解決線に不留を持つ | 々木巻取及を強趣師のアチトに誌』

であった。 一致音解部との間に交はされた是一部は係然として歌場のかなどは、一大もうは、統立に確立、統立地では、一致音解部との間に交はされた是一部は係然として歌場のの形を見、一人もう共戦路に証法、強立に指すて、して謝がの色を見せぬのでが角盤、皮別地がスピードを著した拍子に一弦を水板せず、飛び地下に潜つて、して謝がの色を見せぬのでが角盤、皮別地がスピードを著した拍子に一弦を水板せず、飛び地下に潜つて、して謝がの色を見せぬのでが角盤、皮別地がスピードを含した拍子に一弦を水板とす。

1下に窓掛つた際デッキで背員つ の隣日午前十時より午後儿時まで

二人もろ共成路に顧落、徳文は既一間には日本路にも新境地を開拓す

くが洋脳におく戻してゐた一般の

日本属二十敗點の個人形態的を開

げふの天氣

館 協 會 本 早く取れるのに驚く れる THE REAL PROPERTY. M. Strike

ウミが早く取れるの病が早く教はい

本 花柳病 專門 THE STATE OF THE S

B 1231

强補壯血 オサブルトーゼール 1-10 1-10 ブルトーゼ 水脱馬・5 社會或株 店商吉友澤藤 - 可經过醫東印版大 但本盟編末8和本東 显述单次基中部

理期

會

阿波共同汽船爬出机

では、一大の東京では、19年では

12. 大阪商船航出机

○瑞山行 5日北第日は直の北京を上記に、大名と、大山